



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス 上場取引所 東 名
 コード番号 4732 URL http://www.ussnet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	49,249	7.2	23,453	11.8	23,878	11.5	14,334	9.2
25年3月期第3四半期	45,938	△1.7	20,973	5.9	21,410	6.2	13,128	9.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 14,561百万円 (11.2%) 25年3月期第3四半期 13,092百万円 (13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	55.30	55.19
25年3月期第3四半期	49.32	49.22

(注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	146,916	126,558	85.7
25年3月期	154,543	119,676	77.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 125,860百万円 25年3月期 119,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	161.50	—	146.00	307.50
26年3月期	—	159.50	—		
26年3月期（予想）				16.95	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 131円50銭 記念配当 30円00銭
 3. 平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行っているため、26年3月期（予想）の期末の1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の26年3月期（予想）の期末の1株当たり配当金は169円50銭であり、年間の1株当たり配当金は329円00銭であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,450	3.5	30,800	5.1	31,350	4.9	18,950	3.3	73.10

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式を除く）により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 有 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	313,250,000株	25年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	54,855,066株	25年3月期	55,067,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	259,200,249株	25年3月期3Q	266,160,690株

- (注) 1. 平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。
2. 平成25年3月期の期末自己株式数には株式分割考慮後で969,300株、平成26年3月期第3四半期の期末自己株式数には株式分割考慮後で838,500株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、メーカー各社によるハイブリッド車などのエコカーの投入に加え、平成26年4月の消費税増税前の駆け込み需要が追い風となり好調に推移しました。この結果、新車登録台数は3,847千台（前年同期比4.5%増）となり、中古車登録台数は4,942千台（前年同期比0.1%増）となりました。（（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会調べ）

国内におけるオートオークション市場については、出品台数が5,323千台（前年同期比1.3%増）、成約台数は3,290千台（前年同期比9.4%増）、成約率は61.8%（前年同期実績57.2%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高49,249百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益23,453百万円（前年同期比11.8%増）、経常利益23,878百万円（前年同期比11.5%増）、四半期純利益14,334百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

オートオークション

オートオークション事業は、当第3四半期連結会計期間において、消費税増税前の駆け込み需要などの影響から新車販売が好調に推移し、下取車両が増加したことなどから、出品台数は1,666千台（前年同期比2.4%増）、成約台数は1,108千台（前年同期比9.7%増）と増加し、成約率は66.5%（前年同期実績62.1%）となりました。

出品台数の増加に加え、成約率が上昇したためオークション手数料収入は増加しました。また、販売促進費が減少したものの、名古屋会場の新築移転に伴い、減価償却費、租税公課、および消耗品費などが増加したため営業費用は増加しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高35,980百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益22,375百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、買取車両のうち低額車両の割合が増加したことなどから減収となったものの、オークション相場が高値で推移したため、台当たり粗利益が改善し増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、オークション相場が高値で推移したため販売価格が上昇したことに加え、台当たり粗利益が改善し増収増益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高8,443百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益548百万円（前年同期比57.8%増）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、鉄スクラップ相場が高水準で推移するなか、廃自動車等の取扱量が増加したことに加え、自社開発した再資源化技術による費用削減効果もあり増収増益となりました。

廃ゴムのリサイクル事業は、10月以降主力製品であるカラー着色の弾性舗装用ゴム製品の取扱量が大幅に増加し増収増益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、取扱台数の増加により増収増益となりました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高4,825百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益430百万円（前年同期比777.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は146,916百万円となり、前連結会計年度末と比較して7,627百万円減少しました。これは、有形固定資産が4,699百万円増加した一方で、オークション貸勘定が10,141百万円、現金及び預金が3,361百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は20,357百万円となり、前連結会計年度末と比較して14,508百万円減少しました。これは、オークション借勘定が10,510百万円、自動車税預り金の減少などにより流動負債のその他が2,437百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は126,558百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,881百万円増加しました。これは、利益剰余金が6,444百万円増加したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して12,861百万円減少し、21,971百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は13,524百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益23,490百万円（前年同期比10.0%増）、減価償却費及びその他の償却費2,823百万円（前年同期比8.3%増）、法人税等の支払額10,135百万円（前年同期比17.2%減）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は18,394百万円となりました。これは主に、定期預金の純増減による支出10,500百万円（前年同期実績 純増減による収入5,800百万円）、有形固定資産の取得による支出7,898百万円（前年同期比698.9%増）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は7,991百万円となりました。これは主に、配当金の支払額7,889百万円（前年同期比1.0%増）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成25年11月12日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（耐用年数の変更）

当社は、当第3四半期連結会計期間において、当社が保有する岡山会場の新築移転を決定しました。これに伴い、既存会場の「建物及び構築物」、「工具、器具及び備品」および「ソフトウェア」のうち、移転後に使用見込みのない資産について耐用年数を移転予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方々と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が59百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,033	33,671
オークション貸勘定	13,660	3,518
受取手形及び売掛金	2,662	2,431
有価証券	508	—
たな卸資産	947	989
その他	1,277	1,637
貸倒引当金	△41	△47
流動資産合計	56,047	42,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,537	31,951
土地	58,190	57,816
建設仮勘定	1,197	790
その他（純額）	1,545	2,611
有形固定資産合計	88,470	93,170
無形固定資産		
のれん	17	8
その他	800	1,100
無形固定資産合計	818	1,109
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,298	10,489
貸倒引当金	△91	△53
投資その他の資産合計	9,206	10,436
固定資産合計	98,496	104,715
資産合計	154,543	146,916
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	16,185	5,674
支払手形及び買掛金	556	471
短期借入金	93	93
未払法人税等	4,921	3,847
引当金	523	282
その他	5,885	3,447
流動負債合計	28,165	13,816
固定負債		
長期借入金	864	678
引当金	75	88
資産除去債務	687	693
その他	5,075	5,081
固定負債合計	6,701	6,541
負債合計	34,866	20,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,969	19,014
利益剰余金	125,599	132,044
自己株式	△39,177	△39,012
株主資本合計	124,273	130,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158	252
土地再評価差額金	△5,319	△5,319
その他の包括利益累計額合計	△5,160	△5,067
新株予約権	237	242
少数株主持分	327	454
純資産合計	119,676	126,558
負債純資産合計	154,543	146,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	45,938	49,249
売上原価	18,269	19,195
売上総利益	27,669	30,053
販売費及び一般管理費	6,696	6,599
営業利益	20,973	23,453
営業外収益		
受取利息	7	26
不動産賃貸料	314	356
複合金融商品評価益	28	—
雑収入	157	125
営業外収益合計	508	508
営業外費用		
支払利息	4	2
不動産賃貸原価	49	59
複合金融商品評価損	—	8
雑損失	16	12
営業外費用合計	71	83
経常利益	21,410	23,878
特別利益		
固定資産売却益	15	20
投資有価証券売却益	—	17
その他	0	—
特別利益合計	16	37
特別損失		
固定資産売却損	0	17
固定資産除却損	57	218
減損損失	—	168
その他	14	22
特別損失合計	72	426
税金等調整前四半期純利益	21,354	23,490
法人税等	8,232	9,021
少数株主損益調整前四半期純利益	13,121	14,468
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7	134
四半期純利益	13,128	14,334

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,121	14,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	93
その他の包括利益合計	△29	93
四半期包括利益	13,092	14,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,099	14,427
少数株主に係る四半期包括利益	△7	134

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,354	23,490
減価償却費及びその他の償却費	2,607	2,823
減損損失	—	168
のれん償却額	△3	17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△31
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△261	△241
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△83	12
受取利息及び受取配当金	△18	△38
支払利息	4	2
複合金融商品評価損益 (△は益)	△28	8
有形固定資産除売却損益 (△は益)	42	211
オークション勘定の増減額	722	△369
売上債権の増減額 (△は増加)	645	230
仕入債務の増減額 (△は減少)	△143	△84
預り金の増減額 (△は減少)	△1,621	△1,496
その他	△974	△1,076
小計	22,229	23,626
利息及び配当金の受取額	19	36
利息の支払額	△4	△2
法人税等の支払額	△12,246	△10,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,998	13,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	5,800	△10,500
有形固定資産の取得による支出	△988	△7,898
有形固定資産の売却による収入	41	21
無形固定資産の取得による支出	△133	△538
投資有価証券の償還による収入	100	500
長期前払費用の取得による支出	△10	△25
子会社株式の取得による支出	—	△15
その他	△27	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,781	△18,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△169	△185
預り保証金の預りによる収入	159	166
預り保証金の返還による支出	△55	△62
自己株式の取得による支出	△12,309	△0
自己株式の売却による収入	161	163
配当金の支払額	△7,811	△7,889
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△287	△183
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,313	△7,991
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,533	△12,861
現金及び現金同等物の期首残高	28,540	34,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,007	21,971

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,506	8,257	41,763	4,174	45,938	—	45,938
セグメント間の 内部売上高または 振替高	345	0	345	2	348	△348	—
計	33,851	8,257	42,109	4,177	46,286	△348	45,938
セグメント利益	20,482	347	20,829	49	20,878	94	20,973

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

2. セグメント利益の調整額94百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売 上高	35,980	8,443	44,424	4,825	49,249	—	49,249
セグメント間の 内部売上高また は振替高	430	0	430	5	435	△435	—
計	36,410	8,443	44,854	4,830	49,685	△435	49,249
セグメント利益	22,375	548	22,923	430	23,354	99	23,453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等があります。

2. セグメント利益の調整額99百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「オートオークション」セグメントにおいて、岡山会場の新築移転決定に伴い所有資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において168百万円であります。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	25年3月期	26年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	459	492	7.2	654
営業利益	209	234	11.8	308
経常利益	214	238	11.5	313
四半期(当期)純利益	131	143	9.2	189

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	25年3月期	26年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	87	90	2.4	122
成約手数料	78	86	10.2	114
落札手数料	112	123	10.5	163
商品売上高	4	6	27.7	6
その他の営業収入	51	53	3.0	70
オートオークション計	335	359	7.4	477
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	57	56	△2.4	78
事故現状車買取販売	24	27	13.2	36
中古自動車等買取販売計	82	84	2.3	115
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	29	34	18.4	43
廃ゴムのリサイクル	9	9	4.5	13
中古自動車の輸出手続代行サービス	3	3	17.0	4
その他	—	0	—	0
その他計	41	48	15.6	61
合計	459	492	7.2	654

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	25年3月期	26年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	11	84	651.7	86
完工ベース	5	86	1,505.8	91
減価償却費	24	27	8.6	37